胃癌（進行・再発）　内服困難・不適症例　　1st Line

LV5FU（RPMI）療法

（　　）クール目

患者ＩＤ：　@PATIENTID

患者氏名　：　@PATIENTNAME

身長(cm)	体重(kg)	体表面積(㎡)
$HEIGHT01_Doc	$WHEIGHT01_Doc	#VALUE!

投与ｽｹｼﾞｭｰﾙ：　１クール　５６日（第１週～第６週で施行、第７、８週は休薬）

day 1　8　15　22　29　36　43（休薬）　50（休薬）

使 用 薬 剤　：　レボホリナート（l-LV）：（レボホリナート）25mg､100mg/V
フルオロウラシル：フルオロウラシル注（250mg/5mL、1000mg/20mL）

投 与 基 準　：　class Ｂ

投与量：

薬剤	標準投与量	計算値(mg)	投与量(mg)	施行日（day）
レボホリナート	250 mg/㎡	#VALUE!		1･8･15･22･29･36
フルオロウラシル	600 mg/㎡	#VALUE!		1･8･15･22･29･36

《　タイムスケジュール　》

※記載している時刻は例です。当日の投与予定時刻ではありませんのでご注意ください。

6月11日	（木）　*0:00*	①	生理食塩液 50mL ＋ グラニセトロン 1A 15分で点滴静注	
6月18日 6月25日	*0:15*	②	ソリタ Ｔ３号 500mL ＋ **レボホリナート注** **２時間で**点滴静注（開始１時間後に③投与）	*mg*
7月2日 7月9日 7月16日	*1:15*	③	生理食塩液 50mL ＋ **フルオロウラシル注** **②を開始して１時間後に** 15分以内で急速静注	*mg* 0.00 mL
	2:15	④	生理食塩液 50mL （フラッシュ）	

REFERENCE

A. Sawaki , K. Yamaguchi , Y. Nabeya , Y. Sakai , H.Osanai et al
5-FU/l-LV(RPMI) versus S-1 as first-line therapy in patients with advanced gastric cancer: a randomized phase Ⅲ non-inferiority trial.

2012年6月度化学療法プロトコール審査委員会承認；2012年6月11日　更新:2016年6月14日